

コンピュータ演習 第11回

今回のテーマも、「プレゼンテーション」です。

今回と次回で、まとめの課題に取り組みます。

- リハーサル機能を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. 情報モラルの概説

- 情報モラルについて
- プレゼンテーションのテーマの選択

今回の課題

- 課題: [情報モラル啓発のプレゼンの作成](#)
 - (1) テーマの決定
 - (2) プレゼンテーションの作成

情報モラルの概説

情報モラルについて

プリントやeラーニング上での資料をもとに、情報モラル全般について説明します。次のポイントに注意してください。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 利便性と危険性を十分に理解する
- 背景にある仕組みを理解する
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

プレゼンテーションのテーマの選択

今回と次回（第11回～第12回）の2回の授業で、情報機器（パソコン、ケータイ）やインターネットを利用する際に注意すべき、トラブルや犯罪の危険性を訴える、啓発目的のプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとして、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生（10代後半～20代前半）とします。

プレゼンテーションで扱う「テーマ」について、下の表から1つだけ選択してください。「関連キーワード」は、テーマに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。

番号	テーマ	関連キーワード
1	個人情報の漏えい	クレジットカード情報の流出、USBメモリやパソコンの紛失・盗難、携帯電話の機種変更、パソコンの破棄、ファイル共有ソフト、アンケートの回答
2	嫌がらせ・誹謗・中傷	荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、名誉毀損、業務妨害
3	迷惑メール	ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール
4	売買のトラブル	ネットショッピング、ネットオークション、ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品
5	コンピュータウィルス	データの改変・消去・流出、システムの機能不全、セキュリティーホールからの侵入、ファイルの偽装、スマートフォンのウィルス、ウィルス対策ソフト、ファイアーウォール
6	不正アクセス	セキュリティーホールの悪用、なりすまし、データの改ざん・消去、システムの破壊
7	著作権の侵害	文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、引用、コピー、動画配信サイト
8	ネット詐欺	架空請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺
9	情報の信ぴょう性	クチコミ、うわさ、デマ、流言、拡散、Twitter、Wikipedia、情報源、風評被害

第11回の課題：情報モラル啓発のプレゼンの作成

課題の内容

選択したテーマに関するプレゼンを、今回と次回で制作します。

(1) テーマの決定（今回）

テーマの選択

プレゼン制作を希望するテーマを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望するテーマに投票してください。

1. 『テーマの選択』をクリック
2. 希望するテーマのチェックボックスをクリックし、「投票する」ボタンをクリック
3. 投票結果が表示される

もし間違えて希望と違うテーマを選択した場合は、再投票すれば、希望するテーマを選択できます。

各テーマを選択できる人数には上限があります。このクラスの上限数は、「**10人**」です。
上限を超える場合は、授業担当者が抽選で選びますが、できれば自主的にテーマを変更してください。

決定したテーマの報告

テーマが決まったら、eラーニングで報告してください。

1. 『第11回の課題』をクリック
2. 「提出課題を編集」ボタンをクリック
3. 「選択したテーマ名」と「選択した理由」を必ず入力して、「変更内容を保存」ボタンをクリック
4. 変更内容が保存されれば、報告完了！

(2) プレゼンの作成（今回と次回）

今回と次回で、「**情報モラルの選択したテーマに関するプレゼン**」を作成します。

プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報モラルを訴えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生（10歳後半～20歳前半ぐらい）
2. スライドの枚数は、6枚以上（多くても8枚まで）
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
 - 第1場面：表紙（タイトル、学籍番号、氏名：スライド1枚）
 - 第2場面：起承転結の「起」
 - 第3場面：起承転結の「承」
 - 第4場面：起承転結の「転」
 - 第5場面：起承転結の「結」
 - 第6場面：まとめ（スライド1枚）
4. プレゼン全体を、「**60秒程度**」で再生する
 - 「スライドショーを自動的に実行する」（次回説明）を参考にすること
 - 見た人が内容を理解できるように時間配分を考える

5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる

ファイルの保存

編集ができれば、次のようにして、ファイルに保存してください。

1. メニューから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック
2. 保存する場所に「マイドキュメント」を設定
3. ファイル名に「0630」+「学籍番号」+「.pptx」を設定 (半角文字で)

◦ 例: 学籍番号がH2111000の場合、ファイル名は「0630h2111000.pptx」

課題の提出

この課題は、**次回 (第12回) の授業**で提出してもらいます。注意してください。